

アメリカ合衆国大使館気付

ジョセフ・ロビネット・バイデン・ジュニア大統領 閣下

## アメリカ合衆国における臨界前核実験実施に抗議します

貴国は、2021年6月と9月に西部ネバダ州の核実験場で臨界前核実験を実施していたことを明らかにされました。

ウクライナに侵攻したロシアは核使用を示唆し、北朝鮮による核実験再開の兆候など、核兵器使用のリスクが非常に高まる中で明らかになった貴国による臨界前核実験実施は、核軍拡競争を助長し、国際社会がこれまで築いてきた核軍縮・不拡散体制の動きを止めるどころか、逆行する行為であります。

今回明らかになった行為は、貴国が核兵器の近代化を推し進めていることを示すとともに、新たな核兵器の開発を誘発し、長崎の被爆者をはじめ核兵器廃絶を求める多くの人々の願いを踏みにじるものであり、断じて許すことはできません。

平和で豊かな未来を子供たちに残すために「核兵器のない世界」の実現に向け、取り組みを続けてきた生活協同組合ララコープは今回の貴国の核実験に厳重に抗議するとともに、貴国に対し核兵器の維持や開発を目的とした核実験を一切行わないことと、真摯に核軍縮並びに「核兵器のない世界」の実現に向け取り組むことを強く求めます。

2022年4月15日

生活協同組合ララコープ